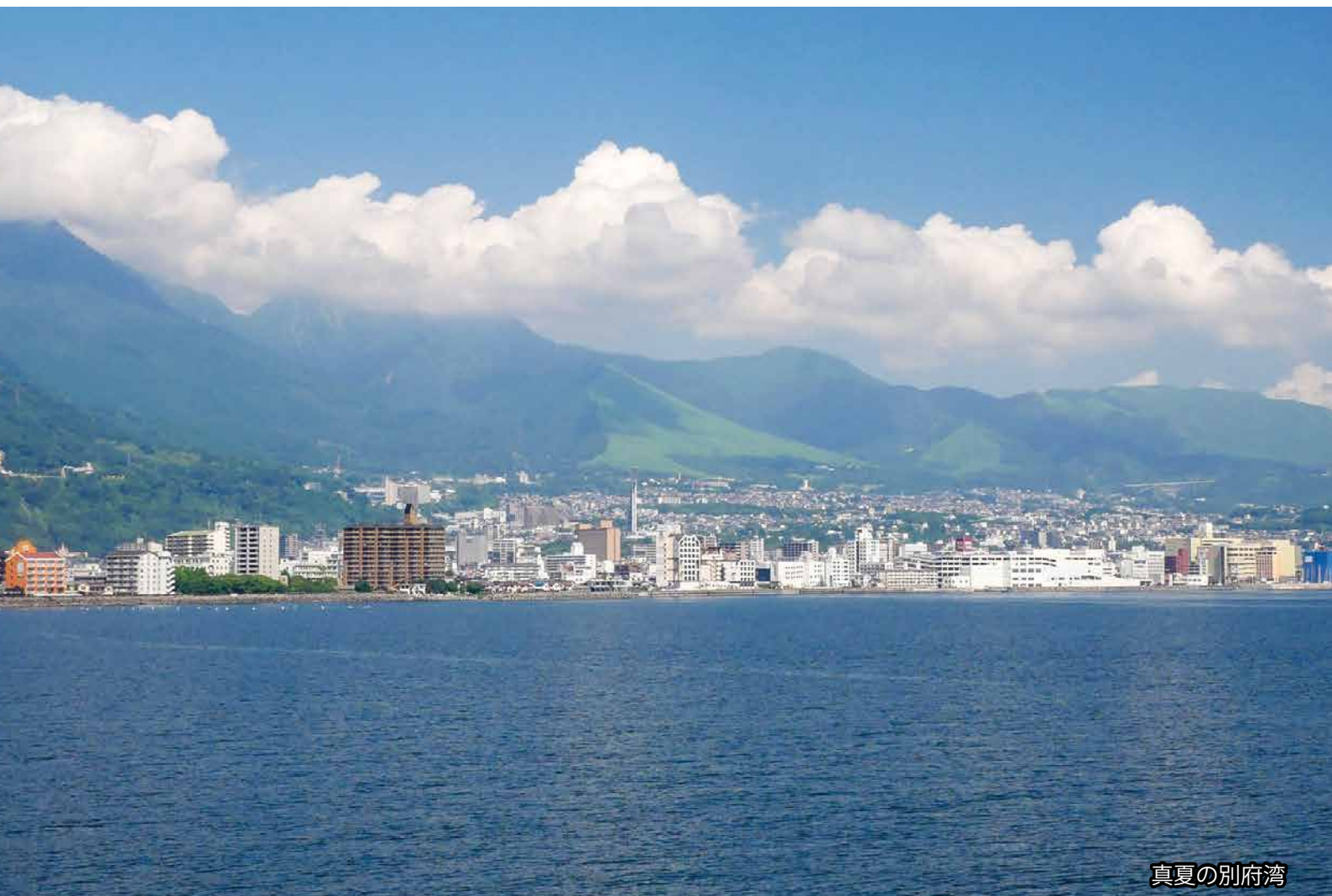


# べっぴん 市議会だより

2020.8.1

No.151



真夏の別府湾

## CONTENTS

- P 2 主な議案の概要（臨時会）
- P 3 主な議案の概要（定例会）
- P 4 議決結果（臨時会・定例会）
- P 5 議案質疑・常任委員会審査
- P 6~11 一般質問（15名が市政を問う）
- P12 コロナウイルス感染症対策について、編集後記

# 臨時会が開催されました！

**新型コロナウイルス感染症  
対策の議案が可決！**

## 令和2年第1回臨時会

4月15日に開催しました第1回臨時会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急に必要な経済的支援対策のための補正予算について、7名の議員より活発な質疑が行われました。

採決におきましては、一部議員から反対する旨の意思表示がありました。賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

## 令和2年第2回臨時会

5月8日に開催しました第2回臨時会では、特別定額給付金支給に伴う補正予算、並びに新型コロナウイルス感染症対策おもしろい基金条例の制定について、3名の議員より活発な質疑が行われました。

採決におきましては、すべての議案が原案のとおり可決されました。

## ～主な議案の概要～

### ●一般会計補正予算(第1号) 4月臨時会 ※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています

#### 新型コロナウイルス感染症緊急雇用に要する経費 ・ ・ ・ ・ 6億円

市内在住又は市内の事業所に勤務、もしくは勤務していた方で感染症の影響で失業や休業を余儀なくされた方などを対象に市役所の会計年度任用職員として、500人規模を最長1年間雇用します。

#### 新型コロナウイルス感染症緊急支援に要する経費 ・ ・ ・ ・ 4億2650万円

中小企業者に対し、店舗等の賃料に対する助成、小規模事業者持続化補助金（経済産業省）の事業者負担分の助成、中小企業者向け新型コロナウイルス感染症関連相談事業として、商工会議所と連携して各種申請等のサポートを行う相談窓口を設置します。

#### 新型コロナウイルス感染症対策に要する経費 ・ ・ ・ ・ ・ 200万円

施設等の消毒に使う次亜塩素酸ナトリウム液を市民、児童施設、福祉施設、教育施設、医療機関、観光施設、旅館、ホテルなどに配布します。

### ●一般会計補正予算(第2号) 5月臨時会 ※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています

#### 新型コロナウイルス感染症緊急対策に要する経費 ・ ・ ・ ・ 117億8631万円

特別定額給付金の給付は、4月27日現在の住民基本台帳に記録されている者（見込117,000人）に10万円/人、事務費は86,317千円です。

### ●条 例

#### 別府市新型コロナウイルス感染症対策おもしろい基金条例の制定について

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている方々をおもしろい人々からの寄付金を活用して新型コロナウイルス感染症に関する対策を実施するための基金を設置することに伴い、条例を制定します。

# 第2回定例会では39の議案を可決！

## 令和2年第2回定例会

6月15日から29日までの15日間にわたり開催された今定例会では、予算関係2件、条例関係12件、その他8件、請願1件の議案が上程されました。

また、最終日には市長より追加議案として予算関係1件、人事案件14件、さらに議会より、議員提出議案1件、議員派遣1件が上程されました。

市長提案理由では、「小中学校のICT環境の整備」「新大分県消防広域化推進計画に基づく消防指令業務の共同運用化」などについて説明があり、議案質疑で活発な議論が行われました。

採決におきましては、請願が賛成少数で不採択となったほか、1件の議案について、一部議員から反対する旨の意思表示がありました。しかし、いずれも賛成多数で原案のとおり可決等すべきものと決定しました。

## ～主な議案の概要～

### ●一般会計補正予算(第3号) 6月定例会 ※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています

#### 別府エール食うぽん券発行事業 . . . . . 1億1600万円

感染症の影響で客足が激減した飲食を提供する店舗・施設等の支援のため、消費喚起を目的とするプレミアム付きクーポン券発行事業を実施します。

#### 宿泊需要喚起「湯ごもりエール泊」事業 . . . . . 9700万円

感染症の影響で宿泊者が激減した宿泊業を支援するため、県民限定の低料金の宿泊プラン（湯ごもりエール泊プラン）を提供する旅館・ホテル等に対して宿泊料の一部を助成します。

#### 新型コロナウイルス感染症予防対策支援事業 . . . . . 1億500万円

利用者の感染を予防し、安全にお迎えするため、事業者の感染症予防対策に必要な費用に対して助成します。

### ●一般会計補正予算(第4号) ※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています

#### 小学校のICT環境整備に要する経費 . . . . . 2億9226万円

#### 中学校のICT環境整備に要する経費 . . . . . 1億4099万円

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に伴い、児童生徒1人1台のPC端末を令和5年度から令和2年度に前倒し、整備します。

#### 消防指令業務共同運用に要する経費 . . . . . 68万円

令和6年4月から開始予定の大分県下14消防本部の通信指令業務を共同運用するための負担金です。

#### 地震津波等被害防止対策に要する経費 . . . . . 1096万円

避難所における新型コロナウイルスの感染リスク低減を図るための感染症対策に必要な物資等の購入をし、小中学校体育館（22箇所）や地区公民館等（17箇所）の39か所の収容避難所へ備蓄品25品目を配備します。

## ●条 例

### 別府市手話言語条例の制定について

手話への理解の促進及び手話の普及に関する基本理念等を定めることに伴う条例を制定します。



# 第1回及び第2回臨時会並びに第2回定例会における議案の審議結果など

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果	
議第63号	令和2年度別府市一般会計補正予算（第1号）	原案可決 (賛成多数)	議第88号	令和2年度別府市一般会計補正予算（第5号）	原案可決 (全会一致)	
議第64号	令和2年度別府市一般会計補正予算（第2号）	原案可決 (全会一致)	議第89号	別府市監査委員の選任につき議会の同意を求め ることについて(恵良 寧)	同意 (全会一致)	
議第65号	別府市新型コロナウイルス感染症対策おもいや り基金条例の制定について					
議第66号	令和2年度別府市一般会計補正予算（第4号）					
議第67号	令和2年度別府市国民健康保険事業特別会計補 正予算（第1号）					
議第68号	別府市税条例の一部改正について					
議第69号	別府市税特別措置条例の一部改正について					
議第70号	別府市都市計画税条例の一部改正について					
議第71号	別府市放課後児童健全育成事業の設備及び運営 に関する基準を定める条例の一部改正について					
議第72号	別府市家庭的保育事業等の設備及び運営に関す る基準を定める条例の一部改正について					
議第73号	別府市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業 の運営に関する基準を定める条例の一部改正について					
議第74号	別府市手話言語条例の制定について					
議第75号	別府市重度心身障害者医療費の支給に関する条 例の一部改正について		原案可決 (賛成多数)			
議第76号	別府市心身障害者福祉手当条例の一部改正につ いて		原案可決 (全会一致)	議第91号		別府市固定資産評価審査委員会委員の選任につ き議会の同意を求めることについて(甲斐 文明)
議第77号	別府市国民健康保険条例の一部改正について					
議第78号	別府市後期高齢者医療に関する条例の一部改正 について					
議第79号	別府市消防団員等公務災害補償条例の一部改正 について					
議第80号	動産の取得について					
議第81号	指定管理者の指定について					
議第82号	他の普通地方公共団体の公の施設を本市の住民 の利用に供させることに関する協議について					
議第83号	市長専決処分について（別府市税条例等の一部 を改正する条例）					
議第84号	市長専決処分について（別府市都市計画税条例 の一部を改正する条例）					
議第85号	市長専決処分について（別府市国民健康保険税 条例の一部を改正する条例）					
議第86号	市長専決処分について（別府市介護保険条例の 一部を改正する条例）					
議第87号	市長専決処分について（令和2年度別府市一般 会計補正予算（第3号））					
議第92号	別府市固定資産評価審査委員会委員の選任につ き議会の同意を求めることについて(加藤 隆久)					
議第93号	別府市、別府市連見地域広域市町村圏事務組合公平委員会委員 の選任につき議会の同意を求めることについて(古田 茂義)					
議第94号	別府市、別府市連見地域広域市町村圏事務組合公平委員会委員 の選任につき議会の同意を求めることについて(田中 朋子)					
議第95号	別府市、別府市連見地域広域市町村圏事務組合公平委員会委員 の選任につき議会の同意を求めることについて(徳部 正憲)					
議第96号	別府市農業委員会の委員の任命につき議会の同 意を求めることについて(久保 賢一)					
議第97号	別府市農業委員会の委員の任命につき議会の同 意を求めることについて(佐藤 進蔵)					
議第98号	別府市農業委員会の委員の任命につき議会の同 意を求めることについて(齋藤 孝一)					
議第99号	別府市農業委員会の委員の任命につき議会の同 意を求めることについて(星野 賢一)					
議第100号	別府市農業委員会の委員の任命につき議会の同 意を求めることについて(藤内 宣幸)					
議第101号	別府市農業委員会の委員の任命につき議会の同 意を求めることについて(後藤 利夫)					
議第102号	別府市農業委員会の委員の任命につき議会の同 意を求めることについて(小畑 義宏)					
議員提出 議案第4号	義務教育費国庫負担制度堅持・教育予算拡充を 求める意見書	原案可決 (全会一致)	議員提出 議案第4号	義務教育費国庫負担制度堅持・教育予算拡充を 求める意見書	原案可決 (全会一致)	
請願第2号	小学校給食自校式継続を求める請願	不採択 (賛成少数)	請願第2号	小学校給食自校式継続を求める請願	不採択 (賛成少数)	
報告第2号	令和元年度別府市一般会計繰越明許費繰越計算 書の提出について	報告	報告第2号	令和元年度別府市一般会計繰越明許費繰越計算 書の提出について		
報告第3号	令和元年度別府市水道事業会計予算繰越計算書 の提出について					
報告第4号	一般財団法人別府市総合振興センターの経営状 況説明書類の提出について					
報告第5号	一般財団法人大分県東部勤労者福祉サービ スセンターの経営状況説明書類の提出について					
報告第6号	一般社団法人別府市産業連携・協働プラットフォーム B-bizLINKの経営状況説明書類の提出について					
報告第7号	市長専決処分について					
議員派遣			原案可決 (全会一致)	議員派遣		原案可決 (全会一致)

## 賛否の分かれた議案等賛否一覧表

議案番号	件名	議決結果	会派・議員名																									
			自民党議員団 12人						公明党 4人		自民新政局 3人		市民クラブ 3人		日本共産 党議員団 2人		参 事 1人											
			首藤正	河野則	野口男	松川生	黒木愛	萩野忠	松川章	安部一	手東貴	阿部真	日名敦	梶田貢	堀本行	市原隆	荒金卓	穴井宏	山本一	森野大	小野正	加藤信	森山義	三重忠	平野文	美馬活	泉武弘	
議第63号	令和2年度別府市一般会計補正 予算（第1号）	可決 (多数)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議第75号	別府市重度心身障害者医療費の支 給に関する条例の一部改正について	可決 (多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
請願 第2号	小学校給食自校式継続を求める 請願	不採択 (少数)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

議案賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」、議長は「/」（採決に加わらない為）、法律により、採決に加われない議案は「除」

# 議案質疑

今定例会の議案質疑では、執行部が提出した令和2年度各会計補正予算や条例などの議案に対し、6月18日に3名の議員が質疑を行いました。そのうち主な質疑内容を掲載します。

## 小中学校のICT環境整備に要する経費について

**問** 文部科学省の「GIGAスクール構想の加速による学びの保障」とは。

また、今回児童生徒用のタブレット端末導入を令和2年度に前倒しするのはなぜか。

**答** 文部科学省は、2018年度より教育のICT化に向けた「環境整備5か年計画」を策定しました。その後、令和時代のスタンダードな学校像として、全国一律のICT環境整備が急務として、昨年12月に「GIGAスクール構想」を打ち出し、その実現を進めてきました。

しかし、今回の新型コロナウイルス感染拡大により学校の休校が長期化し、教育課程の実施に支障が生じたことから、本年4月、

災害や感染症の発生等による学校の臨時休校等の緊急時においても、ICTの活用により全ての子どもたちの学びを保障できる環境を早期に実現するため、構想を加速することとしたものです。

この構想の加速に伴い、本市においても、令和5年度までに達成を計画していた端末整備を前倒しし、今年度中に全ての学年の児童生徒に1人1台の端末を整備することとしました。

## 消防指令業務の共同運用に要する経費について

**問** 消防指令業務の共同運用とは。またその目的は。

**答** 共同運用とは、現在それぞれの消防本部が行っている119番通報の受信から出動司令を発するまでの業務を他の消防本部と

一元化し、共同の指令センターにおいて運用することです。

消防司令業務を共同運用し、119番通報を集約することで、災害情報・活動情報の一元管理等を図り、「南海トラフ地震」をはじめ、激甚化する大規模・広域災害における初動段階での迅速な相互応援や緊急消防援助隊受援態勢を強化し、大規模災害による被害を軽減することを目的としています。

また、財源につきましても、生産年齢人口の減少に伴い、各市町村は将来的に高度化する消防司令システム等の整備・運用に要する財源の確保が課題となっていますが、今回の共同運用では、国の連携事業として緊急防災減災事業債の適用が受けられるものです。



# 常任委員会審査

本会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに詳しく検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。今定例会では、令和2年度補正予算や条例などの議案に対し審査を行いました。

採決においては、請願が賛成少数で不採択となりましたが、その他の議案は賛成多数で、原案のとおり可決（承認）すべきものと決定しました。

## 総務企画消防委員会

「別府市税条例の一部改正について」は、ひとり親を婚姻暦に関係なく非課税措置及び所得控除の対象とするなど所要の措置について改正を行う説明がありました。

委員より全てのひとり親が控除を受けられるということなのかとの質疑に対し、所得制限の条件がある。男女の差をなくすという点でもあり、女性にも所得制限が設けられるとの答弁がありました。

## 観光建設水道委員会

新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算の承認について、委員より「湯ごもりエール泊」の仕組み

等がわかりにくい。「別府エール食うぽん券」については、販売場所を増やすことができないか、対象を他業種へ拡大できないかなどの質疑が行われました。

また、対象となるホテルや飲食店から関連業者への早期支払が必要であるとの意見がなされ、当局より対象施設等へ協力を依頼するとの答弁がなされました。

## 厚生環境教育委員会

『別府市手話言語条例の制定』では、手話が言語であるとの認識に基づき、手話への理解の促進と手話の普及に関する基本理念等を定めることに伴い条例を制定するとの説明がありました。委員からの制定までの経緯と今後の取組についての質疑に対し、平成30年に採択された請願等が契機となっており、今後は手話通訳者の拡充等を図り、積極的に活用したい旨の答弁がありました。

# 一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。今定例会では15名の議員が市当局の見解をただしました。主な内容は次のとおりです。

## 児童生徒にヘルメット着用を

自民党議員団

松川 峰生 議員



**問** 自転車事故は車両事故と比べて重大な事故となる可能性が大であり、未成年者の事故が多いのが特徴である。特に頭部損傷事故は大変な状況に陥ることが予測されるので、児童生徒に自転車利用時のヘルメット着用を積極的に推進すべきでは。

**答** 別府市内は傾斜地が多いため、自転車では自然とスピードが増し、場合によっては大げがつながる可能性があります。ヘルメット着用は、重大事故を

未然に防止する上で効果があるものと考えています。

**問** 校長会を通じヘルメット着用を児童生徒に指導することが必要では。

**答** 教育委員会では、校長会に対し、自転車は道路の左側を通行することや、子どもはヘルメット着用することなど定めた「自転車安全利用五則」を取り扱うよう指導しています。また、毎年市内の小学3年生を対象に、別府警察署と連携して「自転車交通安全教室」を開催し、ヘルメットの着用を推進しています。さらに、道路交通法63条で「保護者は13歳未満の子どもにヘルメットをかぶらせるよう努めなければならぬ」と規定されています。以上のことから、今後校長会を通じて保護者や児童生徒にヘルメットの着用につい

て指導するとともに、関係機関とも連携し、自転車の安全利用を推進してまいります。

## コロナ禍に対する支援策と公共交通について

市民クラブ

森山 義治 議員



**問** 東山小中学校に路線バスで通学している生徒は、教育委員会の遠距離通学費補助の基準となる距離を超えているが、校区外からの通学という理由で補助を受けられない。今後、コロナウイルス感染拡大の兆候があった場合、感染防止のためにも別府駅から通学専用の貸切バスの運行をしていただきたい。

**答** 今後の第2波を想定した上で、安全な登下校について継続的に協議していきます。

**問** 今回発行したプレミアム商品券は、ホテルや旅館、飲食業に限るが、次回は食料品や日用品、交通系ICカードの購入やタクシー料金支払等にも使用できるプレミアム商品券にしていただきたい。

**答** 二次的な波及効果を期待すると共に、観光庁の発表したGOTOトラベル事業等を活用し、多くの産業へ経済効果をもたらすよう取り組みます。

**問** 公共交通空白地である両郡橋、赤松、山家、浜脇地区に限らず公共交通空白地の移動手段確保についてはどうなっているか。

**答** 昨年度、公共交通基礎調査業務を実施し、対策の方向性を検討しました。抽出された地域には、実情に適した交通手段導入に向け、関係団体と協議し、調査、対応策を検討してまいります。



## 学校再開での問題について

日本共産党議員団

美馬 恭子 議員



**問** 3月からほぼ3か月の休校状態後の再開となるが、児童生徒への心理面におけるサポート体制はどのようになっているか。

**答** 長い臨時休校後、環境の変化と感染防止のための生活様式への適応が求められる子どもたちに対して、教職員による丁寧な見守りに努めています。心理面のサポートについてはスクールカウンセラーやスクールサポーターを活用するとともに、総合教育センターの3名の心理相談員が電話・来所・訪問相談を実施しています。また、スクールソーシャルワーカー3名が子どもの環境改善に向けた働きかけを行っています。

**問** 子どもたちにとって授業



も大事なことだが、それ以上に今しか経験できない行事や友達との係わり、仲間としての繋がりなど学ばべきこと、経験を積むべきことはたくさんあると思う。体育大会や修学旅行、社会見学などの行事はどのような予定になっているか。

**答** 体育大会については2学期に実施予定で、実施方法は検討中です。修学旅行については10月に小学校、11月に中学校を予定していますが、今後の県内及び訪問先の状況を踏まえてどのような形で実施するのがよいか判断します。社会見学などで貸し切りバスを利用する場合は原則見合わせることにしています。

**市税等の減免制度・有害鳥獣問題について**

自民新国会

森<sup>もり</sup> 大輔<sup>だいすけ</sup> 議員



**問** 有害鳥獣被害は、農作物

への被害だけでなく、市内で人身事故が起こるなど、市民の命にかかる大きな問題になっている。市を上げて有害鳥獣被害防止対策強化に取り組んでいただきたい。

**答** 市民が出来るだけ有害鳥獣被害に遭う事がないように最善の努力を継続して行っていきたいと思えます。

**問** 市税等の減免や徴収猶予制度が利用できる条件や対象者はどうなっているか。

**答** 市県民税については、新型コロナウイルスの影響により、前年の合計所得が400万円以下でかつ合計所得が前年度比で3割以上減少した納税が困難な方が減免対象です。また、市税等の徴収猶予については令和2年度以降の任意の1ヶ月間において収入が前年同期比で2割以上減少した納税が困難な方が対象です。

**問** 新型コロナウイルスの影響により事業収入が減少している中小事業者に対しての固定資産税の支援制度の内容はどうなっているか。

**答** 令和2年度は徴収猶予制度を活用できます。令和3年度については、中小事業者等に対して令和2年2月から10月までの連続する任意の3ヶ月間の売上高が前年度比で3割以上5割未満減少した場合は、自らの所有する償却資産と事業用家屋に係る固定資産税を50%減税、また売上高が5割以上減少した場合は全額免除になります。対象事業者は令和3年1月31日までに市に申告する必要があります。

**高齢化の進展による財産等の管理について**

自民新国会

小野<sup>おの</sup> 正明<sup>まさあき</sup> 議員



**問** 人口減少・高齢化により管理が難しくなる可能性のある「土地」「墓」「家」の3点について問う。「所有者不明土地」を生じさせないような手立てはしているのか。

**答** 所有者死亡の際、市に相続人の申告を義務付け、また調査を尽くしても所有者不明の場合は、使用者に課税できるように市条例の改正を行いました。国も相続登記の義務化など法律改正を検討しておりその動向を注視し、可能な対処を行います。

**問** 「市営墓地」において荒れた墓を見かけるようになったが対応策は考えているか。

**答** 現在は多死社会ですが、20年後以降は死亡者数の減少も予測されています。墓を継承する人がいない無縁墓の問題や遺骨の収蔵場所の多様化も含め総合的な観点から市営墓地管理計画の策定や墓地条例の見直し等も視野に入れ精査すべきと考えます。

**問** 「空き家」は本市においては現在千件程度だが、高齢者割合が高いことなどにより今後益々増える傾向にある。手を打つことは考えているか。

**答** 「別府市空き家等対策計画」の中で「予防」「活用」

「除却」の3つの柱で取り組んでいます。市報への掲載や空き家所有者への個別訪問により「空き家バンク」の登録勧奨や適正管理について助言を行っています。また、老朽空き家については、「空き家特措法」に基づいて管理指導、状況の改善等を促しています。いずれにしても空き家にならないような「予防」が大切であり、発生を未然に防ぐ対策に取り組んでいきます。

**生活困窮者支援事業について**

公明党

堀本<sup>ほりもと</sup> 博行<sup>ひろゆき</sup> 議員



**問** 生活困窮者自立支援制度が平成27年4月に創設され5年が経過したが、市民の利用がまだまだ少ないのではないか。積極的に広報を行ってみたい。

**答** 現在、別府市ホームページおよび社会福祉協議

会ホームページにて広報を行っています。今後は生活困窮者が利用しやすく地域住民等の理解も得られるように、市報への特集やチラシ、映像等のツールを活用し、周知啓発に努めるよう検討していきます。

**問** 生活困窮者に対して、優しく丁寧に寄り添う支援、断らない伴走型の支援が必要である。この事業を行うにあたり、市としての決意を尋ねたい。

**答** 今回の新型コロナウイルス感染症対策として、べっぴんアリーナにワンストップで全ての相談・支援・申請等を迅速に行うための総合受付センターを開設し、幅広い分野で市民のサポートを行っており、緊急時のワンストップ型相談窓口の重要性を改めて実感しています。

本事業を実施するにあたっては社会的に孤立しやすく、自立に向けた支援が必要な方に寄り添い、もらすことなくかつ迅速に対応できる包括的支援体制を、社会福祉協議会や他の関係

機関とさらに強固なネットワークを構築し推進していきます。

教育行政について  
朝日出張所について

市民クラブ

三重 忠昭 議員



**問** 教職員の時間外勤務時間の上限を条例、規則で定めることが国から示された。仕事が終わらないため、家への持ち帰りや、土日に学校で仕事をせざるを得ない状況が常態化している。このことについても実態把握をし、超時間勤務は正、業務削減を進めるべき。

**答** 本市が策定した方針は、上限時間まで業務を行うことを推進するものではありません。また教職員が仕事をもち帰らざるを得ない実態は課題であり、その実態把握と教職員がゆとりを持って子どもと向き合え

るよう業務改善を進めていきます。

**問** 朝日出張所を朝日大平山地区公民館に移転するという方針を市として決めようだが、方針の決定に至る建替えなどの検討内容について、理解し難いところがある。

また後世への負担軽減や公共施設に係る費用を今後30年間で30%以上圧縮するという公共施設マネジメントに基づいて進めたことが、かえって市民サービス低下を招くようなことがあつては本末転倒となる。交通アクセスの不便さや、現在地での建替えを望む要望書も提出されている。いずれにしても住民への丁寧な説明および謙虚な姿勢での対応をすべきである。

**答** 今定例会が終わってから、地域住民への説明会を開催します。

生活困窮者支援  
自校式給食の継続について

日本共産党議員団

平野 文活 議員



**問** 新型コロナウイルス感染症は「格差社会」の実態を浮き彫りにした。社会福祉協議会への貸付や家賃補助の申請数が大幅に増えていることにも表れており、これまで以上に「弱者にやさしい政治」が求められている。県下では温泉入浴料や水道料金の減免など各種の支援策が打ち出されている。ところが別府市では「福祉の見直し」として、来年4月から高齢者や障害者に対する市営温泉優待入浴券(180回)や水道料金「福祉還付」制度が廃止されようとしている。コロナ禍に苦しむ生活困窮者への支援策として両制度の継続を求めたい。

**答** 両制度の廃止は、予定どおりに進めています。

**問** 北海道岩見沢市では給食調理員がコロナに感染し、小中学校の給食5800食が停止している。本市で同じことがあつたらどうするか。

**答** 東部保健所と相談の上、調理場を臨時休止し簡易給食を提供します。

**問** 学校給食施設関係説明資料のなかの「ドライ化基準面積」は法的根拠もなく、センター化に対する市民の理解も得られていない。リスク分散のためにもセンター化は中止すべきではないか。

**答** 資料に誤りがあつたことは事実だが今後も市民に説明を尽くし、リスクの軽減を図るため、衛生管理基準を満たす新共同調理場の整備に取り組みます。





乳幼児の健康診断について

自民党議員団

日名子 敦子 議員



問 新型コロナウイルス感染予防を含め、現在どのように実施しているか。

答 受診人数を制限した上で予約制とし、三密を避けるために受付時間を分けて実施しています。受診対象の保護者に体調管理等のお願い事項を事前に送付し、来られた際は再度体調確認並びにマスク着用、手指消毒等にご協力いただいています。健診会場では、受診者間の距離を確保し、受診者の導線を一方通行にするなどして可能な限り接触を避ける、滞在時間を短くするなど感染予防に努めます。

問 人数制限により、通常対象となる乳幼児の受診時期が遅れていくと思うが、どう対応しているか。

答 延期になった対象者や通常健診対象者に電話での案内や、延期により変更となる健診受診の該当月を個別に送付することで、出来るだけ混乱がないように早めの情報提供に努めています。

問 今後の実施予定は。

答 感染状況を見極めながら受診人数を増やしたり、医師会や歯科医師会の協力をいただき健診回数を増やすなど、適切な時期に受診できる環境づくりを行い、子供の成長発達を支援していきます。

エール泊について

自民党議員団

梶田 貢 議員



問 感染症の影響は土産品の販売にも及び大量の在庫を抱えている状況が報じられて、今回のエール泊はこれを機に地元を知ってもらおうものだと思います。

答 今だからこそ地元の土産品をPRすることも大事だと考えている。土産品を湯ごもりエール泊に付けて販売ができないか。

答 湯ごもりエール泊事業では、感染症予防対策への取り組みを促進しながら宿泊事業者を支援することに、土産品を製造・販売する会社を含め市内産業における経済波及効果を得るものと考えています。緊急事態宣言が解除となり、何よりも迅速に事業を実施する必要があるので、宿泊施設を対象として観光客数の回復に取り組みとともに、観光土産品事業者への支援にも取り組んでいます。また、BizLINKでは、土産卸事業者等へ「ネット通販のサイト立上げ」「大手企業社員向けの別府の土産商品詰合せ販売」「販路拡大」などの支援に取り組んでいます。さらに、大手コンビニ

オンライン診療について

公明党

市原 隆生 議員



チェインから、土産品事業者を支援するために県内コンビニで別府の土産品を販売したいとの申し出があり、そのつなぎを行うなど、現況を少しでも緩和したいとの思いを持った取り組みを行っています。

問 オンライン診療は、医療機関で受ける対面での診察と違い、家に居ながらスマートフォンや電話を使って受診できるので、院内感染などのリスクが少なくなるうえに通院や、待合の時間が無くなるため患者には便利な制度だが、どのように受診するのか。

答 医師の判断により、直接医療機関での受診となる場合もあるので、まずは「かかりつけ医」や最寄りの

医療機関に、「電話・オンライン診療」を実施しているのかをホームページや電話で確認します。「かかりつけ医」を持たない場合は、厚生労働省や市のホームページで実施している医療機関を確認でき、市内では25施設で実施しています。一般的な受診の流れは、事前に電話で予約を行い、保険証などで本人確認をしたうえで、医師に症状などを説明し診断を受けます。薬が必要な場合は、服薬指導が受けられ薬も配送できるようです。すべての病気に対応できるのではなく、医師の診断や処方方が医学的に可能であると判断した範囲内で受診できるので、高血圧や糖尿病など慢性的な病気で症状が安定している人の診察が多いようですが、状況によっては対面での診察を促されることがあります。



子宮頸がんワクチン  
接種と効果について

公明党

穴井 宏二 議員



**問** 子宮頸がんは年間約1万人近くの女性がかかり、約3千人もの女性が亡くなっている。幼い子どもを残して亡くなってしまう事も多いことからマザーキラーとも呼ばれている。子宮頸がんワクチンは定期接種の対象であり推奨年齢の小学校6年生から高校1年生相当の女子には定期接種として助成がある。

欧米諸国の接種率70%と比べ、日本は1%未満でありWHOや世界産科婦人科連合から危惧と接種推進の見解が出されている。近年の子宮頸がんの現状を尋ねたい。

**答** 国立がん研究センターによると、ここ数年全国的に子宮頸がんにかかった人・亡くなった人ともに増加傾向です。

今後対象者を含め予防接種の重要性について啓発していきたいと考えています。

**問** 何も知らないまま定期接種の対象期間を過ぎてしまったという市民を出さないためにも、個別周知など事前に接種の可否を判断する正しい情報とともに、助成期間終了のお知らせ、権利失効の通知を行うべきでは。

**答** 子宮頸がんは、早期発見、治療で治癒しやすいがんです。発見時期が遅くなると治療が難しくなります。

20代後半から増え、40代以降はおおむね横ばいとなり、最近では、20歳から39歳で患者さんが増えている傾向です。市としては、対象者やその保護者を含め、接種機会が失われないよう幅広く周知すると同時に、副反応のリスク等も含め、正しい情報の提供に努めて参りたいと考えております。



指定管理者への  
別府市の支援について

公明党

荒金 卓雄 議員



**問** 新型コロナウイルス感染症の予防対策で、公共施設の臨時休館を行ったが、利用者数も利用料収入も大きく減少し、大きな影響が出ている。

指定管理者は、国や県・市の「緊急対策」を利用できるのか？

**答** セーフティネット認定による融資、雇用調整助成金、持続化給付金は指定管理者の有無を問わず、要件に合えば、その支援等を受けることができます。

**問** 公共施設の安定運営維持のために別府市の支援対策が必要ではないか？

**答** 消毒等の作業費など、コロナウイルス感染症対策にかかる費用は市費で負担します。市の要請による施

設の閉館、行事等の延期や廃止により、利用料や使用料等の収入が減少した指定管理者については、過年度の収入の実績等を勘案し、損失の補填を行います。

**問** 突発的災害に起因する影響について、市として指定管理者への対応をルール化する必要があるのでは。

**答** 基本協定書に市と指定管理者のリスク分担を定めており、今回の新型コロナウイルスの発生は、不可抗力（暴風、豪雨、地震、火災など）に伴う、施設、設備の修復による経費の増加及び本業務の履行不能に当たります。

この場合のリスクの負担は市が負うものとなっております。

土地売り払い、貸付  
について

自民党議員団

安部 一郎 議員



**問** 市の土地の貸付や売買金額が安すぎるのではないかと市民の声が多いが、別府商業高校の跡地利用・売却については、どの会議体で誰がどのような発言をし、どのような議論を経て決定したのか。

**答** 土地の貸付や売買については、担当部局において様々な観点から整理検討を行い、公共施設マネジメント推進計画との整合性も図りながら、市長、副市長をはじめ関係部署とも協議を何度も重ねて意思形成を図っていきます。決して市長の一存で決まってしまうものではないので、そういった作業を、日々の市長の日程を申し上げることはできません。我々含めていろんな協議を細部にわたって重ねながら意思を決定していきます。そのうえで、公共施設マネジメント推進会議に諮り方針を決定します。その結果をさらに財産活用推進会議に諮り、市長決裁を仰ぐというプロセスを踏んで決定をします。

**問** 売却までのプロセスを間違えている。市長が決めたのかとの質問はしていない。市



長と事前に協議するべきではない。

また、売却の意思決定がなされるまでの議事録が残されておらず、どのような議論を経て売却が決定したのかわからない。全ての会議で議事録を作成することを義務化してはどうか。

**答** 行政の方針を決定する会議については、議事録又は議事概要等、記録を残す必要がありますが、記録方法等については会議の性質・内容等に依り、個別に検討してまいりたいと考えています。

**コロナの影響で財政は大丈夫か**

行財政改革クラブ

泉 いずみ 武弘 たけひろ 議員



**問** 鉄輪地獄地帯公園の一部、約400坪を400万円、1坪約1万円で売却し温泉権まで無償で譲渡した。この売却地に境界杭はあるのか。展

望公園を利用させたが原型復旧はできたのか。また、雑排水問題の対応は。

**答** 境界杭設置、公園の原型復旧を解決するよう口頭や文書で求めてきたができていません。今後は専門家と相談して法的に解決したいと思っています。

雑排水問題は、状況に改善が見られないため関係部署と協議・連携の上、関係法令に基づき解決したいと思っています。

**問** コロナの財政への影響が大きい。収入は確保できるのか。

**答** 影響はあるが現時点では減少額の算出はできません。

**問** 長野市長になつてから、財政調整用の財政調整基金が約34億円減少、減債基金も約5億円も減少した。一方、借入金約49億円増加、将来にわたる債務負担も約40億円増加して財政の硬直化が進んでいる。大変危惧されることは財政調整用基金が約53億円しかないことで、災害等に対応できるか心配している。

市民に迷惑が掛からないような財政運営に取り組んでもらいたい。

**答** 社会情勢の変化を反映した予算編成をしたいと思っています。

**問** 500名の緊急雇用は失業者を救済した反面、問題点もある。神戸、大阪、市川、青森、板橋区、港区、福岡県等の大部分では、仕事を決めているところが、別府市は仕事も決まらないのに500名を発表したが。

**答** 緊急雇用がすべて正しいとは思っていないが、兼業を可能とし、安心感を与えるために決定しました。

**問** 緊急雇用した約250名の内約100名程度が消費作業をしている。これらの仕事を民間に発注し、失業者雇用を条件に、人件費の一部を負担すれば会社の仕事量も増え、市の負担も軽減されるが。

**答** 民間を介したお金の払い方も方法論としてあったと思います。

**請願・陳情**

どなたでも市議会に請願・陳情することができます。

請願とは、国や県・市に對し要望や意見を述べることをいいます。別府市議会に請願書を提出するには別府市議会議員の紹介が必要になります。

詳しくは別府市議会ホームページをご覧ください。なお、令和2年第3回定例会の請願の受付期限は8月21日(金)17時までです。

**令和2年第3回市議会定例会会期日程**

(予定)

9月1日 議案上程

4日 議案質疑

9月7日 委員会付託  
常任委員会  
審査

9月9日・11日・14日

予算決算特別委員会

16日・18日・23日

一般質問  
委員長報告、  
討論、表決

25日 委員会報告、討論、表決

令和2年度市民と議会との対話集会は、コロナウイルス感染症対策のため中止いたします。

**虚礼廃止にご理解ご協力を**

公職選挙法に基づき、虚礼廃止の徹底を行っています。別府市議会ではこの一環として、初盆のお供えには、御霊のご冥福を祈る「追悼あいさつ文」を持参して、お参りすることにしています。政治家が、暑中見舞い状を出すことや、お中元などを贈ること、お祭りへの寄附をすることは、法律で禁止されています。また、有権者の皆さまが、政治家に勧誘・要求することも法律で禁止されています。市民の皆さまには、趣旨をご理解のうえご協力をお願いいたします。





## 新型コロナウイルス感染症対策について申し入れをしました



長野市長に申し入れをする松川章三議長、阿部真一副議長

市議会は、市民の不安を解消すべく、新型コロナウイルス感染症対策について、長野市長へ「市民の生命を守ることを最優先とし、必要な予算対応等は、市長専決処分を含めて緊急な財政支援対策を講じることを要望するとともに、臨時議会開催など支援いたしたい。ウイルス感染症対策や各種支援策等、様々な情報の迅速かつ的確な提供が求められるなか、適宜迅速な報告をお願いするとともに、市民の心に寄り添った対応を心掛けるよう求める。」との申し入れをしました。また、当分の間、「常任委員会行政視察を見合わせる」との申し入れをしました。

### 傍聴のご案内

6月定例会では新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴にお越しの方に以下をお願いをしました。

- ・アルコール消毒液の利用（傍聴受付に設置）
- ・検温の実施（傍聴受付にて実施）
- ・マスクの着用（必須）
- ・連絡先（電話番号）の記入
- ・体調のすぐれない方に、傍聴をお控えくださるようお願い

また、傍聴席は密を防ぐため間隔を明け、定員を31席としました。

9月定例会の傍聴を希望される方は、事前に市議会ホームページ「傍聴に関するお知らせ」をご確認ください。

本会議を  
中継して  
います



別府市議会では、市民の皆さまに議会をより身近に感じていただけるよう、ケーブルテレビとインターネット、スマートフォン、タブレット端末による本会議の生中継と録画中継による本会議の放送を行っています。

#### 放送日時

本会議開催日（午前10時から）

#### 放送内容

議案の提案理由説明、議案質疑、一般質問など

#### 放送メディア

ケーブルテレビでの中継  
CTBメディアとんぼチャンネルで生中継します。

#### インターネットでの中継

別府市議会ホームページ  
<https://www.city.beppu.oita.jp/gikai/> にアップ  
ロードしてお入りください。  
（また、全日程終了後、概ね1週間後から約1年間録画  
中継を放映しています。）

※議会中継は公式記録ではありません。公式記録は本会議後に調製する会議録となります。



編集後記

山の草木も青々と色づき、猛暑厳しい季節となりましたが市民の皆さまにおかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

「形勢二変」ラグビーワールドカップで盛り上がった令和元年。新型コロナウイルスの影響で大きく一変した令和2年。誰も想像できないできごとが起きています。

市議会に対しても多くのご意見やご指摘をいただいています。ご意見、ご指摘を真摯に受け止め「開かれた議会」「市民に寄り添った議会」を目指すと共にこの難局を乗り越え「形勢逆転」となるべく市議会として今後も全力で取り組んでまいります。

また、「べっぶ市議会だより」についても市民の皆さまにわかりやすく情報発信できるように重ねて努力してまいりますので、今後も議員活動に対しご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

広報広聴委員会

委員 手束 貴裕